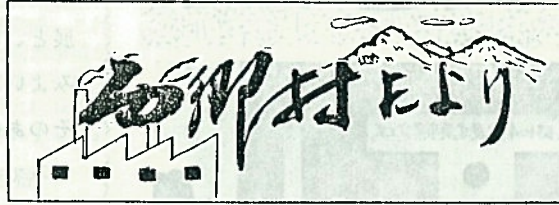


西郷村の人口及世帯数
(42.4.1現在)

世帯数	2,171
人口	10,829
男	女
5,341	5,488



発行日 昭和42年4月25日

発行所
西郷村役場
電話(熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
金田謙夫 青柳定男
印刷所
ワタベ印刷所

正しい選挙で
あなたがつくる

4月28日は投票日

村長、村議選挙

—— 我が村政に直結する ——

選挙です

よかったと心に残る

一票を——

四月二十八日(金曜日)は、西郷村長、西郷村議会議員選挙の投票日です。

去る二十一日に告示され二十四日に立候補が締め切られました。その立候補者数は、村長二名、村議三十五名となりました。

他町村ではすでに終った県議選に於て数多くの違反者を出し新聞紙上をにぎわしているようです。今回の村長、村議選には我が西郷村の名をけがすことなく村民一人一人が自確し、「正しく明るい選挙」を推進しましょう。

投票時間は四月二十八日午前七時より村内十投票所で始められ、終了時間は午後六時までですが、追原、一の又、川谷の三投票所は時間繰上げ投票所ですので、午後五時で終了します。

時間の間違いから大切な一票を失うことのないよう注意して下さい。

開票は午後七時から西一中体育館に於いて行なわれます。

この選挙は、わたしたち村民の生活に直接つながる大切な選挙です。身近かな選挙だけに、とかく義理や人情にまどわされがちですが、わたしたちの意志を村政に反映させる四年に一度の機会ですから、自分の意志で立派な人を選んでください。

この選挙で選びだされた人々に、これから四年の間の村政が委されるわけです。つまりわたくしたちの幸福と村の繁栄は実に今度の選挙にかかっていると云えます。

「ねていて人を起すなかれ」

といわれます。人まかせでは政治はよくなりません。みなさん、最も元氣あふれる若い力を、やさしく強い婦人の力を、思慮深いご年輩の力を結集して明るい明日の郷土づくりのため、よりよい「明るく、正しい選挙」を推進して下さい。

実績を追って

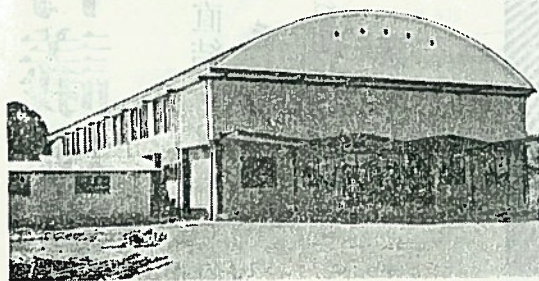
生活環境の整備や教育施設の充実、更に産業、経済の発展と、昭和41年度も明るい住みよい村造りが進みましたがそのあゆみの一部を広報写真でみてみましょう。



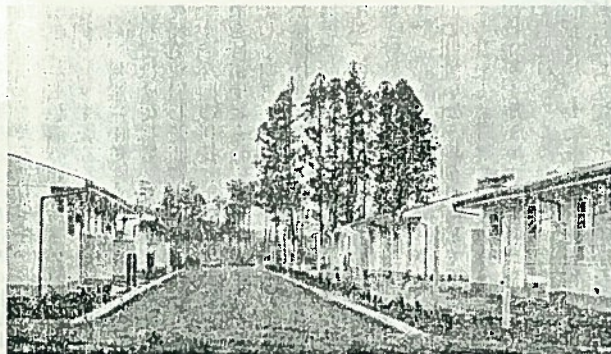
〔上〕41年度建設事業完工式

〔中〕デラックスな玄関

〔下〕新装なった西二中校舎



体操器具の完備した一中屋体



〔上新田地内の村営住宅〕

◇ 西二中、デラックス校舎に！

昭和39年度より3ヶ年計画で進められていた西二中校舎新築工事は、地元の教育に対する熱意が実つて、この3月に落成、あわせて昨年暮れより着工していた給食室工事も同時に完成しました。

生徒達は今までの馬小屋校舎から解放され伸び伸びと勉学にはげんでいます。

当事業の総事業費は、国庫補助金の7,183千万円含め、46,315千円、建築面積2,781.97平方メートル(約841坪)と大事業だつただけに、部落民の喜びもひとしおです。

◇ 村営住宅20戸新築

本村には既に35戸の村営住宅がありましたが、このほど上新田地内と原中地内に各々10戸づつ新築落成しすてに入居者も選衡委員会のげんせいな選衡のもとに決定今月25日より入居することになりました。

42年度にも無住宅解消を旨とし20戸の建設計画が出来補助金の申請を始めています。

◇ 小田倉地区に清潔な 簡易水道完備

既に今年新年号(第30号)でお知らせしました、小田倉地区簡易水道事業は、補助対象の本管工事が3月10日に竣工、一般家庭への給水工事もほぼ完成、これで4年前からの懸案であつた簡水事業が完成し、地区住民3,344人は水の心配が全くなり更に42カ所の消火栓設置により火災の心配からも解放されました。

◇ 新田橋永久橋で落成

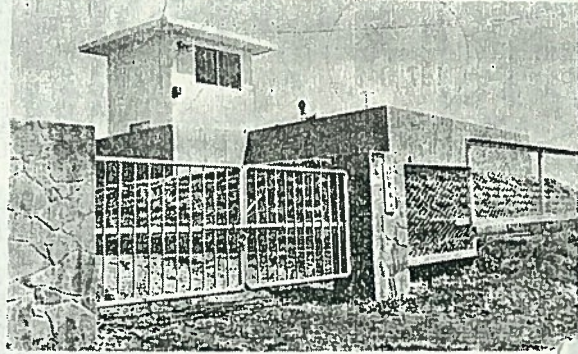
新田橋架換工事は昭和40年度から、8,868千円(内県費4,400千円)を投じ、1,394mの完成を見た米地区農道(下新田~柏野線)とあわせて実施していた3ヶ年計画事業の2年目。

第1年目は、橋梁下部工及び取付道路の一部で事業費7,200千円(内国費4,000千円)。

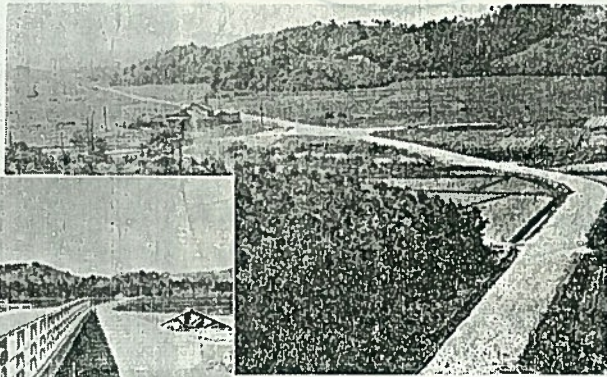
第2年目(41年度)は、橋梁上部工及び取付道路で13,622千円(内国費8,000千円)を投じ完成となつたものです。

この橋は、42年度に計画されている米地区農道の残分、谷地中~柏野間の貫通及び41年度施行分の巾員拡巾が完成することにより、本村北部と南部を結ぶ連絡道路の連絡橋として、重要かつ、したしまれる橋となることでしょう。

我ガ村の事業



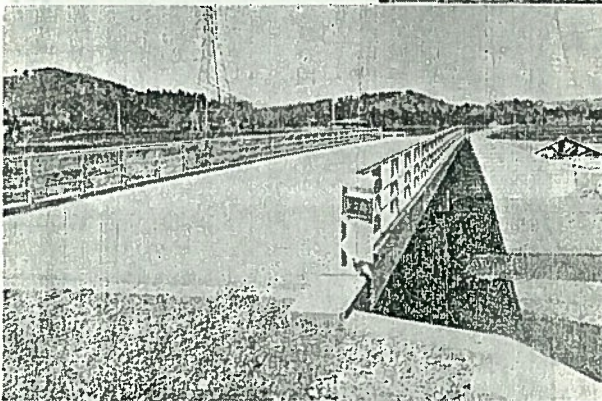
小田倉地区3,500人の水をまかなう配水池



〔上〕 将来村の基幹道路となる米地区農道

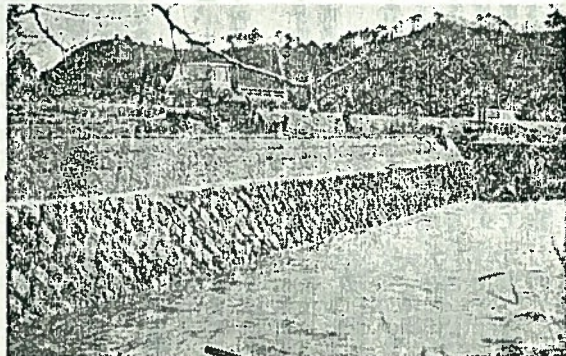
〔中〕 下新田地内堀川にかけられた永久橋

〔下〕 千歳川の護岸工事



◇ 西一中に村内初めての 屋体落成!

本村には、今まで屋内体操場がなく雨の日などの授業には非常に不便を感じていましたが、この3月公立文教施設整備事業の指定を受け、完成、今後は生徒の体育はもちろん、各種集会等にも広く活用されることとなり、今までの不便を解消されました。これに要した事業費は、17,275,650円、内国庫補助金が6,302,400円となつています。



昭和42年度新予算から 教育関係が第一位

昭和四十二年西郷村の予算は、三月十一日村議会第一回定例会に上提され、十四日まで慎重審議の結果原案通り可決しました。

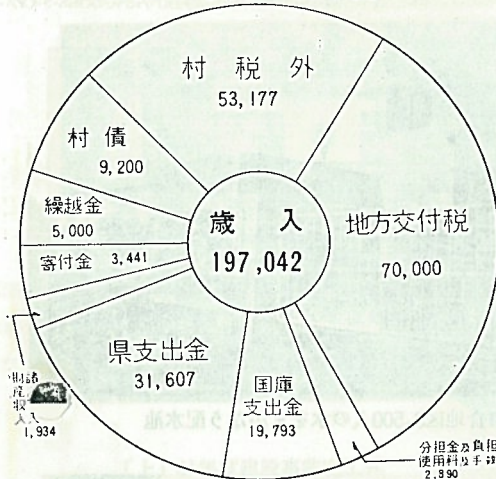
今年度の予算は衆議院の総選挙が影響して、国が暫定予算で出発したため財源の見通しにかなりの困難がありました。その中で、明らかに豊かな村造りを目指して、一般会計に於て総額二億門に近い、かなり積極的な予算が組まれました。

その概要はグラフで上げてみました。また項目別に主だった事業を上げましたので昭和四十二年の村政全般を見てください。

第一図で御覧のとおり、昭和四十二年の一般会計当初予算の総額は一億九千七百四十二千円であり、これを昭和三十五年と比較しますと三、五倍以上に大規模化しています。

第二図では歳入の内、村

昭和42年度当初予算



(第2図 ↑)

(第3図 ↓)

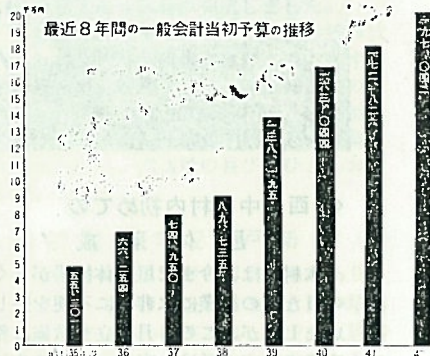


- ▽西一中給食室建設 三〇、二九〇千円
- ▽西二中屋 体内操場建設 西二中整備のため 三〇、二九〇千円
- ▽青年学級、婦人学級 二七三三円
- ▽川谷保育所措置費 二、六四二千円
- 二、土木関係
- ▽村道維持補修費 二、七六六千円
- ▽谷地中、柏野間産業道路 貫通事業 一、〇〇〇千円
- 一、〇〇〇千円
- ▽雪割橋塗装ガードレール工事 五〇〇千円
- ▽芝原川谷兵橋補修工事 原中一の又線橋架換工事、米熊倉線橋架換工事合計 八二〇千円
- ▽公営住宅建設二〇戸 一七、一〇二千円
- ▽敬老会、老人健康診査、敬老年金 八六九千円
- ▽各種検診 三四二千円
- ▽し尿処理場建設負担金 一、〇〇〇千円
- 一、〇〇〇千円
- ▽蚊、蠅、鼠などの駆除 一、二三八千円
- 六、消防、交通安全関係
- ▽交通安全対策費 五二二千円
- ▽防火水槽(由井ヶ原、長坂) 一、一〇〇千円
- ▽自動車ポンプ購入 二、三〇〇千円

税や地方交付税などの使途の制限されない一般財源が全体の約六十六%を占め、国庫補助金や寄付金など、使途のきまつた特定財源が三十四%を占めていることがわかります。

第三図では、歳出の内、使途による分類を示してあり、教育費、土木費、農林水産費などが大きな比重を占めていることがわかります。

それでは、昭和四十二年当初予算に組まれた主な事業にどんなものがあるか、項目別にあげてみましょう。



(第1図)

- 三、甲子開発関係
- ▽西郷、白河観光一部事務組合負担金 八五〇千円
- ▽赤面林道改修負担金 一、〇〇〇千円
- 四、産業振興対策関係
- ▽水稲直播展示圃米作覽作会 二〇〇千円
- ▽稲作振興基金 一、七八五千円
- ▽農業構造改善事業費 五、二五九千円
- ▽農業補助 五〇〇千円
- ▽畜産振興基金 一、一〇〇千円
- 一、一〇〇千円
- ▽村道虫笠、鶴生線の開設 二、〇〇〇千円
- 二、〇〇〇千円
- ▽農業土木事業 二、〇〇〇千円
- 二、〇〇〇千円
- ▽有線放送施設事業 一七、五〇〇千円
- 一七、五〇〇千円
- 五、民生関係